

10年で、

# 1,303件

※2010～2019年度の診断数の合計

「うちエコ診断」は、受診される家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに「うちエコ診断士」が、環境省の「うちエコ診断ソフト」を用い、受診者とのコミュニケーションを通じて、お住まいの気候や家庭のライフスタイルに合わせて無理なくできる省CO<sub>2</sub>・省エネ対策を提案するものです。

2010年度の準備期間を経て、2011年度より実施しています。診断後3カ月を目途に、受診世帯に対してどのような対策を実施したかの調査を行い、対策の実施結果をもとに事業全体としての効果を算定しています。

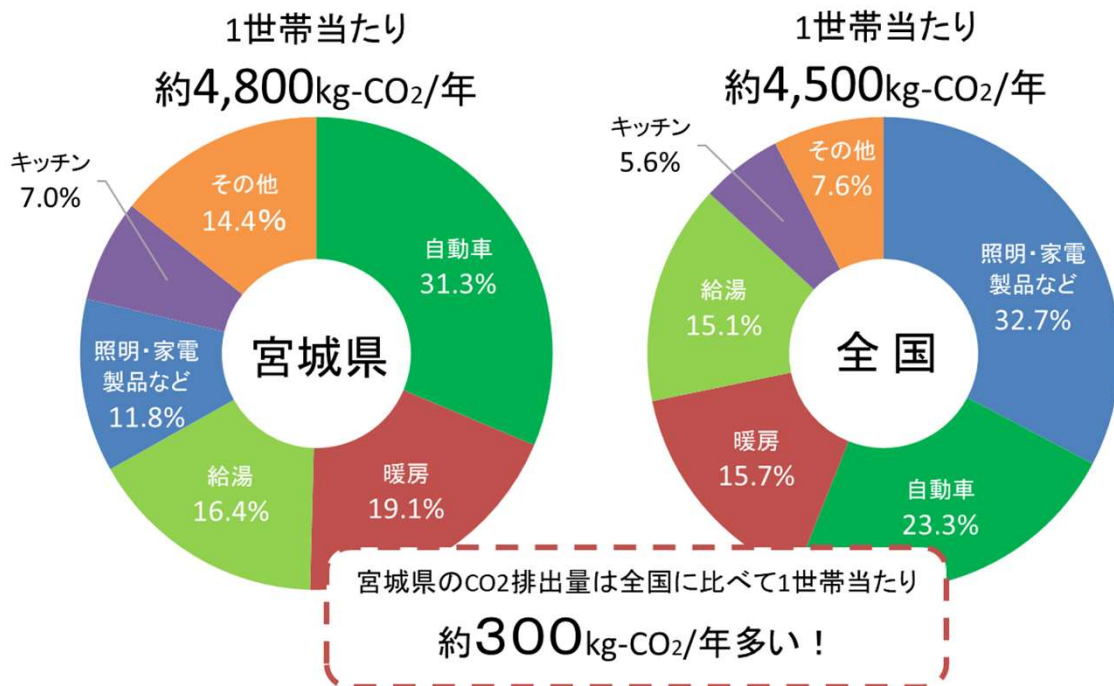
## 《うちエコ診断の4つのポイント》

1. 各家庭に合わせて、オーダーメイドの対策を提案します。お住まいの気候やご家庭のライフスタイルに合わせて無理なくできる地球温暖化対策を提案します。
2. 地球温暖化問題、省エネ機器、家庭の地球温暖化対策の知識を持った専門家が診断を行います。家庭での温暖化対策のなぜ？どうして？にお答えします。
3. 専門ソフトを用いて、各家庭のエネルギー使用量や光熱費、CO<sub>2</sub>排出量をわかりやすくお見せします。年間にどこから、どれくらい光熱費がかかっているのか、ご家庭からどのくらいCO<sub>2</sub>が排出されているか一目わかります。
4. すぐに対策を実行できるように、具体的な情報を提供します。具体的にどうすればいいの？どこで売っているの？といった質問にお答えします。



うちエコ診断中（2016年）

## ■ 家庭からのCO<sub>2</sub>排出割合(用途別内訳)



データ元: 2019年度うちエコ診断結果

データ元: 温室効果ガスインベントリオフィス  
家庭からの二酸化炭素排出量(世帯当たり)(用途別内訳)(2017年度)



### 「うちエコ診断活動」と「推進員活動」の両立

井上正志さん  
うちエコ診断士  
推進員（第8期生）

宮城県地球温暖化防止活動推進センター（ストップ温暖化センターみやぎ）が設立20周年を迎えますこと、心よりお祝い申し上げます。

私は、平成27年4月より、宮城県地球温暖化防止活動推進員（第8期）＜以下、推進員＞の活動を開始し、自ら家庭で出来る省エネ対策を実践してみて、自分に出来たことを他の人にも伝えて行こうと思い「うちエコ診断士」になりました。

推進員と並行して、うちエコ診断活動を継続できたのは、「ストップ温暖化センターみや

ぎ」スタッフの方々のご支援と各種研修を通して、他の診断士の方々と交流ができたからと感謝しております。

うちエコ診断活動の思い出として、平成29年10月開催「おおがわらオータムフェスタ」の会場診断で、突然大雨が降り、駐車場特設会場内が浸水し、電源元が心配でプリンター出力を中止、診断結果を後日スタッフに郵送して頂いたこともありました。

今年はコロナ禍の影響もあり、うちエコ診断活動は自粛をせざるを得ない状況にあります。一方、社会環境の変革により、WEBによる遠隔診断も検討されています。

私にとって、うちエコ診断活動も推進員の一環であり、今後も両立して行きたいと思います。

今後も、「ストップ温暖化センターみやぎ」が永続的に発展し、益々ご活躍されますことを祈念させていただきます。



### 「うちエコ診断」について

川村真貴さん  
うちエコ診断士  
推進員（第7期生）

日常生活で省エネや節約について誰かと真剣に話す機会は、なかなか無いと思います。

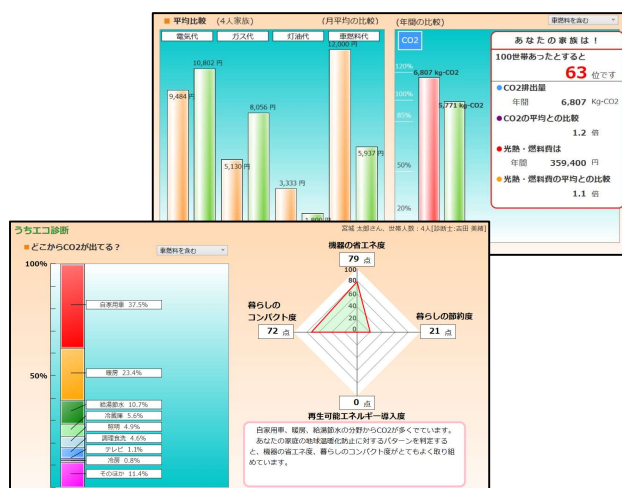
うちエコ診断は家庭の年間光熱費やエネルギー使用量、ご自身で実践している節約方法を話してもらうことから始まります。

私は診断する際、聞いた内容にプラスして各家庭に応じた省エネ・節約のアドバイスを行い、無理なく取組めるよう受診者の皆さんにお伝えをしています。

例えば冷蔵庫と壁の間に隙間を作るなど少しの工夫でCO2排出量を減らすことができます。

また診断ソフトを使って削減効果を実感できると皆さんやりがいを感じてくれるので私も嬉しくなります。

受診者と一緒に考えた省エネや節約方法を家庭に持ち帰り、家族みんなで実践してもらうことがCO2削減に繋がる第一歩だと思っています。



うちエコ診断ソフトの画面例

#### 【受診した方のコメント】

- ・省エネについての意識が家族の間にも広がり、うちエコ診断を受けてよかったと思いました。（仙台市 Wさん）
- ・普段の生活の中で少し気を付けることでecoにつながっていると実感できました。これからも続けていけたらと思いますし、また診断していただきたいです。（気仙沼市 Sさん）